2019年度　IBBP マウス凍結精子作製の委託事業公募

１．概要

大学連携バイオバックアッププロジェクト（IBBP）では研究途上の様々な生物遺伝資源をバックアップ保管し、災害や事故が発生した際にバックアップ保管した生物遺伝資源を返却することで災害・事故からの速やかな研究の復旧を支援するプロジェクトである。本プロジェクトで保管できる生物遺伝資源は液体窒素中での保存を前提としていることから、その技術を持たない研究者はこのプロジェクトを利用することが困難である。そこで利用者からの希望が多いマウス凍結精子の作製を委託できる機関を公募する。これにより多くの研究者が IBBP を利用できる体制を整備することを目的としている。

２．公募期間

2019年1月31日（木）必着

【仕様書企画案郵送先】

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課
産学連携係
〒444-8585　愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
TEL:0564-55-7134　FAX:0564-55-7119
産学連携係 :r7136@orion.ac.jp

事務的な問い合わせは産学連携係まで、内容についての問い合わせは IBBP センター（ibbp@nibb.ac.jp）までご連絡ください。

３．公募内容

利用者からのマウス（マウス個体或いは精巣上体尾部）の運搬、精子の採取、ガラス化法等による凍結精子の作製と一時保管、作成した凍結精子の IBBP センターへの運搬を一括して行うことができる大学・研究所などの公的機関を公募する。委託経費は1,500,000円とする。また、年間の凍結精子作製受託件数はマウス運搬費・凍結精子作製費・一時保管費を含めて15件程度とする。

４．仕様

１）利用者からの SPF マウス（遺伝子組換え系統を含む）の運搬システム

マウス（精巣上体）運搬時には利用者にマニュアル等で適切なアドバイスを与え、遺伝子組換え体を含むマウスの場合は組換え DNA 実験計画の申請など凍結精子作製

に必要な諸手続を応募者機関で速やかに実施可能なこと。また凍結精子作製までの間、搬入したマウスを維持できる飼育システムを保持、あるいは運搬後すぐに凍結精子作製が行える体制が整備されていること。

２）運搬されたマウスからの精子採取と凍結精子サンプルの作製

マウス或いは精巣上体からの精子採取から凍結精子作製までの過程を同一機関で一連の作業として実施可能であり、凍結精子作製時の精子の状態（運動性・生存率・濃度）を報告可能であること。

３）凍結精子の一時保管システム

作製した凍結精子を一時的に保管することができる液体窒素保存システムを有すること。また IBBP センターで使用しているストロー用カセット等を用いた保管が可能であること。

４）凍結精子の IBBP センターへの運搬

作製した凍結精子を IBBP センターに安全に輸送するための方法を有し、IBBP センターと連携して輸送手続きを進めるなどの協力ができること。

５）マウス凍結精子作製の事業委託報告書の提出

マウス凍結精子作製の事業委託報告書を次年度 4 月 30 日までに IBBP センター宛に提出すること。委託事業報告書には事業の成果又は実施状況および委託事業に係る決算報告（消耗品費、人件費、旅費、運搬費、その他の内訳）を記載する。

５．委託事業契約

採択後、採択機関と基礎生物学研究所との間で委託事業契約を締結します。

委託事業契約締結後、事業費の配分を行います。

上記のシステムを統合的に運用可能であること。

付記事項

利用者からのマウス凍結精子作製のため委託機関への申請に必要な書類は IBBP への保管委託申請と同じ（申請書、遺伝子組換え生物等情報提供書、SPF 証明書等）フォーマットを利用するなど、書類作成のサポートを含めた IBBP との連携が可能であること。

今回の委託事業でのマウス凍結精子作製は IBBP の保管委託審査で承認された申請についてのみ実施できるものとする。